

特徴

- ◎ ハイビジョン録画
- ◎ 前方 140度、後方 100 度の 2 カメラ
- ◎ タッチパネル操作
- ◎ 9.66インチ全面 LCD モニター
- ◎ LCD 輝度調整

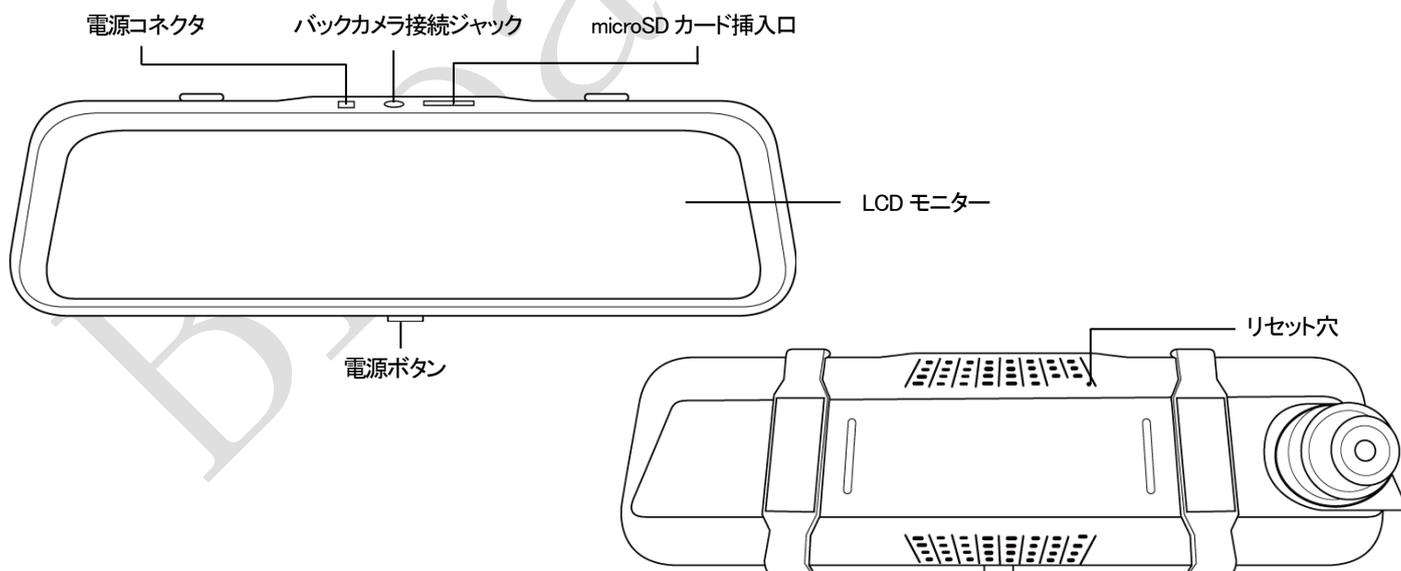
使用上のご注意

※ **ご使用前に使用上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。**

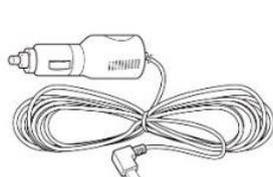
操作は LCD 保護シートをはがした後、タッチパネル表示に従って行って下さい。

- 異常現象(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源を抜いて製品サポート又は販売元までご連絡下さい。
- 機器を開けたり、製品を改造したりしないでください。
- お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- 機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 異物、油滴、液体を入れないで下さい。火災や感電、故障の原因となります。
- 下記のような場所でのご使用及び保管はしないでください。
 - 油煙や湯気が直接当たる場所。熱器具、加湿器の近く。湿気やほこりの多い場所。炎天下や高温、可燃性ガスのある環境。
- サンシェードをご使用の場合は、本機をフロントガラスとサンシェードの間に挟みこまないでください。高温になり、故障や火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。
- 運転中は走行中に操作や画面を注視しないで下さい。
- バックモニターとしてご使用の際は、後方や周囲の状況を目視やミラーでご確認ください。
- 走行中は LCD モニター表示を非表示にしてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、本体から電源コードを抜いてください。
- 本機の取り付けは確実に行ってください。また、不安定な場所に設置しないでください。落下してケガや事故の原因となる恐れがあります。
- 本機をフロントガラスに設置する場合、フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。また検査標章(車検ステッカー)等に重ならないよう設置ください。
- 本機の取り付け及び配線コードがエアバックの動作の妨げにならないようにしてください。エアバックが動作した際、ケガをする恐れがあります。
- 電源コネクタや端子の汚れは綺麗にふき取って接続してください。また端子は確実に差し込んでください。接続が不十分だと動作不良、火災や感電の原因となることがあります。
- 事前に試し撮りをして画像をご確認ください。
- 撮影データに関しては一切の責任を負いかねます。他者の著作権、肖像権等を侵害しない範囲で使用ください。
- ▲ 急激な明るさの変化は録画品質が一時的に落ちます。
- ▲ 他の電子機器と電波干渉する場合は設置場所を変えてみて下さい。
- ▲ 機器の動作が異常な場合は、リセット操作を行ってください。
- ▲ microSD カードの取り出しは、電源をオフしてから行ってください。
- ▲ microSD カードは定期的に初期化(フォーマット)をしてください。
- ▲ microSD カードは消耗品です。年に1回の交換を推奨します。
- ▲ この機器は日本国内専用です。保証は国内に限り有効です。
- ▲ 本機器は防塵、防水仕様ではありません。(バックカメラ本体部は防水仕様です。)

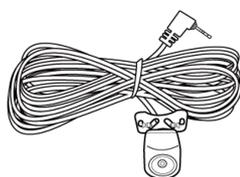
1. 各部名称



<付属品>



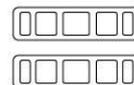
カーシガー電源アダプター



バックカメラ



バックカメラ取り付け用ビス(2 本)、
両面テープ



本体取り付け用ゴムバンド
(2 本)

2. 準備

1) カメラ本体を充電する

※初めてご使用になる場合、充電が足りないと動作不良を起こす場合があります。カーシガー電源アダプターをシガーソケットにさし、ケーブルを本体の電源ジャックに接続して、本体の電源が OFF の状態で 2 時間以上充電してください。

2) microSD カード(別売)の準備

対応 microSD カード

記録メモリ	容量	スピードクラス
microSDHC	32GB~128GB	V30以上

重要

microSD カードは消耗品です。
3ヶ月に一回程度の初期化(フォーマット)、年に1回以上の交換を推奨します。

3) microSD カードを挿入する

microSD カード挿入口に、microSD カードの金属面が LCD 画面の反対側に向くように挿入してください。

・カードの取出しは再度カードを押すと出てきます。

・本機器で録画されたデータ以外はカードに記録しないで下さい。

4) microSD カードを初期化(フォーマット)する

パソコン又は本機器でメニュー画面に従って初期化下さい。

5) 時刻設定

① セット画面で[日/時刻]を選び、OK ボタンを押します。

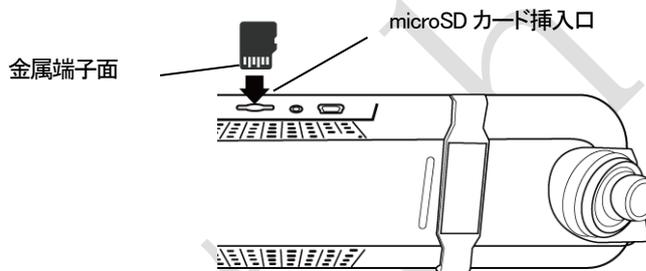
② タッチパネル表示に従い日時を設定します。

6) 事前確認 ※取り付け前に必ず行ってください。

① 画面にフロントカメラとバックカメラの映像が表示されるかご確認ください。

② 数十秒間試し撮りを行い、正常に録画ができていないかご確認ください。同時に録画データの再生の動作もご確認ください。

③ 車内でカーナビ等他機器に影響がないかご確認ください。



3. ドライブレコーダーを取り付ける

1) 本体を取り付ける

付属のゴムベルトで純正ルームミラーに巻きつけて固定してください。

純正ルームミラーのサイズに合わせて、ゴムベルトの引っ掛ける位置を調節してください。

※LCD 画面とフロントカメラレンズには保護フィルムが貼られていますので、剥がしてお使いください。

2) バックカメラを取り付ける

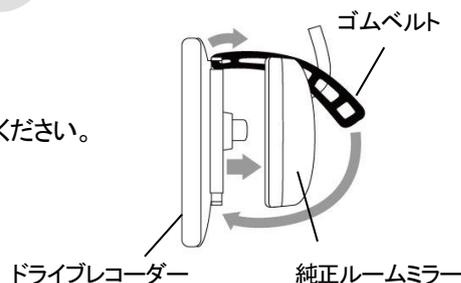
付属のビス又は両面テープで車体または室内後方に取り付けてください。

3) 配線を接続する

配線経路は車種により異なりますので、

ご不明の場合はカーディーラー等へお問い合わせください。

<配線接続図>



バックギアを連動させる場合

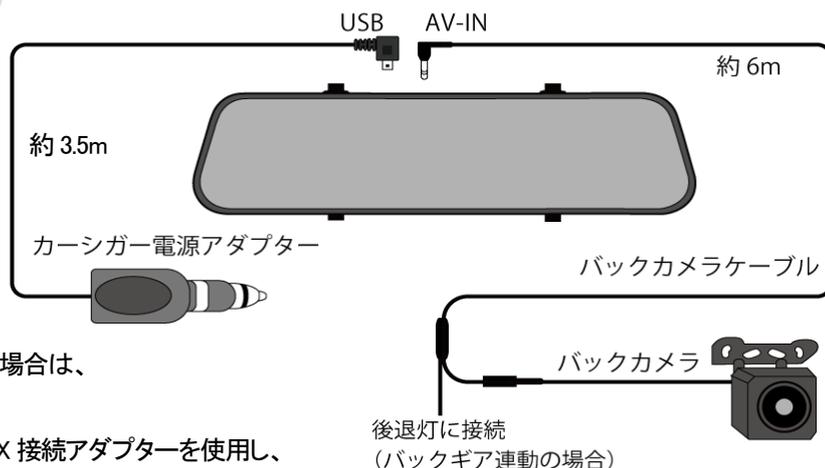
バックカメラ接続ケーブルの赤(電源プラス線)と車の後退灯(バックランプ)を接続するとバックモニターとして働きます。

電源との接続について

※カーシガー電源アダプターをシガーソケットにさし
使用時は常時電源を供給ください。

※車種によってカーシガーソケットから電源を常時供給している場合は、
降車時に電源ケーブルを抜いて下さい。

また、車にカーシガーソケットが無い場合は別売のヒューズ BOX 接続アダプターを使用し、
ヒューズボックスから電源を供給してください。



4. 基本操作

■ 電源オン/オフ

microSD カードを入れて電源ボタンを押すと電源オンとなり、LCD モニターが表示され録画が開始されます。電源ボタンを長押しすると、録画中のファイルを保存した後に電源オフとなります。また、エンジンスター、ストップにより連動して自動的にビデオ録画を開始・終了することができます。(注意) カーシガー電源がエンジン始動により連動しない車種の場合、この機能は使用できません。

自動電源 OFF について

・内蔵電池で動作中は録画中バッテリーの残量が少ない状態を検出すると自動的に現在の録画ファイルを保存した後に電源が切れます。録画を続行する場合は充電をしてください。

■ LCD 表示の表示/非表示

電源ボタンを短く押すと、LCD モニター表示の表示/非表示の切り替えができます。

※走行中は LCD モニターの表示を非表示にしてください。

設定により何も操作しない場合、LCD モニター表示がオフとなる時間が設定できます(スクリーンセーバ)。

■ 操作

LCD 上のメニューをタッチすることで操作します。

5. ビデオ

録画ボタンを押すと録画を開始し、ファイルを分割して保存します(分割時間はループ録画の設定で変更できます)。

録画中は LCD モニターの右上に録画時間が赤字で表示され、左上に赤丸が点滅します。

録画の停止は録画ボタンを再度押すと、録画中のファイルを保存した後“スタンバイ状態”となります。

・マイクのオン/オフ

LCD メニューにて録音音声のオン/オフができます。

・ループ録画

録画中にメモリーカードの容量が少なくなると録画フォルダー内の古いファイルを順次削除して、新しいデータを記録していきます。

設定で 1 つの録画ファイルの録画時間が設定できます。

・カメラ切り替え (バックカメラ接続時有効)

表示するカメラはスワイプ操作で切り替えることが出来ます。

6. 写真

LCD メニューの“写真”により静止画を撮影します。

7. 録画データを見る/削除する

LCD メニューの再生により、機器上で再生ができます。

撮影したファイルは“¥DCIMA”と“¥DCIMB”にカメラ別に保存されています。

■ パソコンでの再生

※microSD カードの取り出しは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。

microSD カードを抜いて、パソコンで動画プレーヤーを使用して再生してください。

(推奨動画プレーヤー・・・GOM プレーヤー)

8. ファイルの削除と保護(ロック)

① LCD メニューの再生でデータを選択し、データの削除又は保護が出来ます。

② 録画中に画面上の“ロックボタン”を押すとファイルが保護されます。

■ ファイルの保護/保護解除

ファイルが保護されている場合、ループ録画で古いファイルが消えません。その為、メモリーオーバーを起し録画できなくなる場合があります。

また、削除はファイル保護解除してから行う必要があります。

9. 初期設定

※設定値のアンダーラインはデフォルト設定(推奨値)です。

項目	設定値	説明
ループ録画	オフ/1 秒/2 秒/5 秒	設定した時間で録画ファイルを分割保存し、SD カードの容量が無くなると古いファイルから順に削除して保存します。
タイムラプラスビデオ	自動/昼光/曇り/電球	駐車監視機能モデルで使用します。 設定値当たり 1 コマを撮影し、再生時には 30fps で再生されます。
露出	-2. 0~+2. 0	露出を補正します。
表示設定	前面/後面/分割	LCD に表示するカメラを設定します。
録音音声	オン/オフ	オンで動画と同時に音声も録音します。
日/時刻	—	日時の設定をします。
言語	日本語	表示言語の設定をします。
明滅の頻度	50Hz/60Hz	地域の周波数を設定します。
スクリーンセーバ	OFF/30 秒/1分間/3分間	最後に操作した後、設定した時間が経過すると画面を非表示にします。
フォーマット	—	microSD カードを初期化します
デフォルト設定	—	すべての設定をデフォルト値に戻します。
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

※タイムラプラス機能は駐車監視において使用します。その為、車のバッテリーから供給する専用の電源(別売)が必要になります。

10. よくあるトラブル

- ・ 本機の動作が不安定 ・・・ リセット穴をクリップの先端等で押してリセット処理をして下さい。
また本体の内蔵電池が充電されているか確認後、充電されていない場合は充電してください。
- ・ 録画出来ない。画面表示しない ・・・ 充電操作、リセット処理を行ってください。
- ・ 録画を開始すると機器がフリーズする ・・・ V30 以上の microSD カードをご使用ください。また使用前に microSD カードをパソコンまたは本機器でフォーマットして下さい。
- ・ 操作ボタンが押せない ・・・ 録画停止操作後(赤い時間赤表示が無い状態)操作ください。

11. 仕様

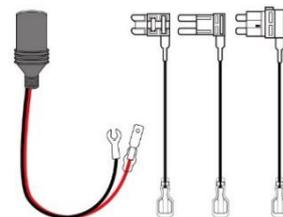
レンズ視野角	約 140 度(前方)、約 100 度(後方)		
ナイトモード	高感度センサーにより撮影		
前方ビデオ録画	1080P、AVI		
後方カメラ	1080P、AVI 約 6m 信号ケーブル		
静止画(前方)	最大 4032 × 3024Pixel, JPG		
液晶モニター	9. 66インチ		
メモリーカード	マイクロ SD カード、最大 128GB		
電源	5V(カーシガー電源接続、ケーブル長 約3. 5m)		
バッテリー容量	200mAh/3.7V、入力 DC5V(USB)	筐体材質	ABS
サイズ	【フロントカメラ】 約 260 × 75 × 18mm(突起部除く)、約320g 【バックカメラ】 約 23x23x32mm(スタンド部除く)		

<同梱物> 本体、ゴムベルト(2本)、バックカメラ(ケーブル、両面テープ、ビス付)、カーシガー電源アダプター(12V/24V 対応)、取扱説明書(本紙) ※microSD カードは付属していません。

12. オプション

<ヒューズ BOX 接続アダプター>

シガーソケットを使用せず、ヒューズボックスから直接電源をとることができます。
シガーソケットが無い車への設置や、配線を隠してダッシュボード周りをスッキリさせることができます。
ご購入の際は弊社サポートまでご連絡ください。



13. サポート

保証書

型番 : CARTMF-2C1080P

お買い上げ日

年 月 日

ご購入日が記載された書類(レシート、領収書、納品書、保証書、メール等)のいずれかを必ず保管してください。製品保証を受ける際に必要になります。

保証規定についてはブロードウォッチのホームページをご確認ください。

保証期間 : お買い上げ日より1年

販売店印

※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。

ホームページ <http://www.broadwatch.jp/>

メール support@broadwatch.jp

電話 050-3786-0010 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 ※土日祝除く

※話中の場合はコールバック対応です。※電話対応は混み合いますので、メール対応をおすすめします。

 **株式会社ブロードウォッチ**
BROADWATCH 堺センター 〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西3丁1-7